

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会議事録

日 時 平成25年8月9日（金）午後7時から9時15分

場 所 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館
2階 会議室

1 協議会次第

(1) 開会

◆副館長挨拶

◆館長の挨拶

(2) 議事

- 1 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会
会長および副会長の指名について
- 2 青少年活動サポートプラザの業務の指定管理者制度の導入について
- 3 各委員会からの報告・意見交換について
- 4 その他
- 5 次回開催日程について

(3) 閉会

2 出席委員（14人）

村松会長・菊池委員・渡邊委員・川中委員・奥野委員・木村委員・上茶谷委員・白銀委員・中家委員・山本委員・池畑委員・
信田委員・田辺委員・岩本委員

3 事務局出席者（6人）

山本 智也（子育て青少年拠点夢つながり未来館長）
今川 学（子育て青少年拠点夢つながり未来館副館長）
宮嶋 督高（青少年活動サポートプラザ主査）
西川 克弥（青少年活動サポートプラザ主査）
伊藤 尊之（青少年活動サポートプラザ主査）
林野 優子（山田駅前図書館主幹）
山本 紘也（のびのび子育てプラザ主査）

4 議事録

(事務局 A)

皆さんこんばんは。

本日は、お忙しい中、また、暑い中お集まりいただきお礼申し上げます。

それでは、事務局 B 一言よろしくお願ひします。

(事務局 B)

皆さんこんばんは。

先日、佐賀市の教育委員会の方が見学に来られました。

また、文部科学省の家庭教育支援室長が、私に話を聞きたいと来られて、大学か「ゆいびあ」かどちらかで話をしたいかと尋ねたところ、ゆいびあを選ばれたため館内を見学されました。大阪府福祉局の子ども室の方にも来ていただきまして、特に文部科学省の方はぜひ興味をもって帰られました。

こういうユニークな実践をしているところですので、今後も内外に発信していければと思っています。

その意味でも中身を充実させていきたいと思っておりますので、運営協議会でのご支援をよろしくお願い申し上げます。

以上ご挨拶とさせていただきます。

(事務局 A)

ありがとうございます。

議事の前に、平成 25 年 6 月 30 日をもって、A 委員の会長および B 委員の副会長の任期が満了しました。

つきましては、今期の会長および副会長を指名させていただきますまで、事務局で議事を進行させていただきます。

まず、本日使用する資料の確認をさせていただきます。

(事務局 C)

では私の方から本日使用する資料のご説明をさせていただきます。

(資料説明)

(事務局 A)

では、議事 1 の「吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会 会長および副会長の指名について」ですが、A 委員、B 委員には事務局 B の館長着任から 6 月 30 日まで運営協議会の運営にご尽力いただき、各委員からいろいろと貴重なご意見をいただく場を提供していただきました。

我々としては、A 委員に会長を、B 委員に副会長を引き続きお受けいただきたいと考え、前回お配りしました資料 2-5、6 の運営協議会規則第 3 条に基づき、指名させていただきますと考えています。

A 委員、ぜひ、お受けいただきたいのですがいかがでしょうか。

(A 委員)

ではご指名がございましたので、引き続きお受けいたします。
今後ともよろしくお願ひいたします。

(事務局 A)

B 委員には事前にお願ひして了解を得ておりますので、引き続きお願ひしたいと思ひます。

それでは、A 委員、議事の進行をよろしくお願ひします。

(A 委員)

それでは、皆さん引き続きよろしくお願ひします。

議事 2 の「青少年活動サポートプラザの業務の指定管理者制度の導入について」ですが、事務局から報告があります。

よろしくお願ひします。

(事務局 A)

指定管理者制度の導入につきましては、これまでも説明させていただいたとおり、施設全体の指定管理ではなく、貸館業務と警備・清掃等の施設管理業務を指定管理にするということになっております。

これまでの経過を説明させていただきますと、7月29日に業者、団体への説明会を行いましたら、24団体が来られました。

その団体がすべて手を挙げてくるかどうかはわかりませんが、非常に関心が高いと感じました。

今後のスケジュールですが、8月21日水曜日から8月30日金曜日まで応募を受け付けてまして、9月中に候補者を決定するという予定になっております。

12月の議会で承認が得られましたら、平成26年4月から指定管理制度導入となります。

以上でございます。

(A 委員)

ありがとうございます。

この指定管理者制度について、委員の皆さん何か質問等はございますでしょうか。

続きまして議事 3 「各委員会からの報告・意見交換」についてですが、資料に基づいて各委員会からご報告をお願ひしたいと思ひます。

青少年活動サポートプラザ フロア委員会からお願ひします。

(C 委員)

では、報告させていただきます。

議事内容報告を見ていただければおわかりいただけると思ひますが、7月28日に第3期目のフロア委員会を、委員7名、事務局3名の合計10名で開催いたしました。

委員長及び副委員長の選任を行い、前期と同じく、委員長は私上茶谷、副委員長は村上委員となりました。

また、運営協議会の委員選出につきましても、引き続き委員長が兼任することとなりました。

その他事項といたしまして、青少年委員会から活動報告がありました。あとから報告があると思いますが、去年も非常に好評だった夏祭りの件について報告がありました。

それと、これはまだ完全にはできていないのですが、利用者のルールについて青少年委員会が主となり、ルール作りを前向きに進めており、7月28日午後の青少年委員会でもみんなが気持ちよく使えるためにはどうしたらよいか話し合ったということでございます。簡単ですが以上でございます。

(A 委員)

ありがとうございました。

続きまして、のびのび子育てプラザフロア委員会からお願いします。

(D 委員)

では議事内容の報告をさせていただきます。

お手元の資料にありますように、6月8日に第3回目のフロア委員会を行いました。

出席者は事務局の3名を含めまして11名でした。

かいつまんで申し上げますと、利用状況や自主事業の報告がありました。

その後、各委員から、のびのび子育てプラザや夢つながり未来館に対する活発な意見・提案がございました。

その中には、年齢別親子教室の対象年齢や講座の申し込み状況の確認報告、転入者向けの企画について、各委員からご意見をいただきました。

更に広報の一環として、民生児童委員協議会との連携についての提案がございました。

これは、民生児童委員が4ヶ月の乳児を対象とした家庭訪問をしております、その際にゆいぴあ、のびのび子育てプラザのチラシ等を持って行き、家庭訪問の際にご説明をするという提案でございます。

また、この運営協議会に対する提案もございまして、まずは1階のエントランスの掲示物の配置がわかりにくい、従って掲示方法の検討が必要ではないかというものです。

提案の中身といたしましては、運営協議会の委員の中にも地域の自治会から出席されている方もおられますので、自治会との連携も含めて、館全体の広報を進めてはどうかということで、この地域はいろいろと転入者も多くいらっしゃるようで、我々民生児童委員も4歳児の家庭訪問をすると、さまざまな質問を受けるわけです。

例えば、お医者さんはどこにありますかとか、子育てに関するコミュニケーションの場がどこにありますかとか、そういった趣旨のものが多いですね。

お母さん方が同じ悩みを持っていらっしゃる方とコミュニケーションを取りたい、そういった場はどこにありますかという問い合わせが非常に多いわけです。

そういった意味で、のびのび子育てプラザとしては、広報をもう少し発展的にできないかという議論になりました。

詳細については資料に記載しておりますので、また目を通していただければと思います。

以上です。

(A 委員)

ありがとうございました。

それでは、次に山田駅前図書館フロア委員会からお願いします。

(E 委員)

少し前になりますが、5月29日に事務局Aにもお越しいただきまして、フロア委員会を行いました。

図書館では前にも申しましたが館長が毎年替っているという事情がありまして、これはなんとかならないかなと思っています。

主な意見としては、後程図書館長からあると思いますが、当初は検討課題として出されておりましたが、検討していただいた結果のお話が聴けるということですので、後でお願いしたいと思います。

図書館事業報告等で、24年度に計画していたものがちょっとずれていますよねといったご意見がありました。

やはり図書館も生き物ですから、そのときそのときで予定が変わり、臨機応変に企画を行うということで、多少の違いは出てしまうことをご了解いただいています。

それと、今年の秋に事務局Bの講演会があるということで、どういう内容がいいかお尋ねいただいたのですが、一つに決められないよねということで、連続講座など、いろいろな意見が出ました。

その中で、ゆいびあでするのであれば保育付きでもいいのではないかという意見がありました。

いいお話なので、いろんな方に足を運んでいただきたいと思います。

それと、事業の中で図書館サポーターとして若い生徒さんに来ていただいているのですが、その方たちにも参加してもらったり、今まで図書館に関わった若い人たちにも来てもらうとか、呼びかけをすればまた輪が広がるのではないかと思っています。

あと、やはり今後は年齢制限の難しさが出てくるかなと思います。

小学生でも高学年はいいけれども低学年はどうなのだろうといったことです。

これもいろいろなところで関わっていく中で、みんなで大人も子どももお互いよい形で参加してもらえるように考えていけたらと思います。

以上です。

(F 委員)

山田駅前図書館長のFと申します。

以前よりお話が出ていた読書タイムですが、定員5組で募集をしておりましたが、7月には30組の申し込みがありまして、大変好評になっております。

のびのび子育てプラザでお子さんをお預かりいただき、その間図書館を自由に利用していただくという催しなのですが、のびのび子育てプラザの協力を得まして、9月から10組に拡充し、取り組んでいきたいと思っております。

以上です。

(A 委員)

ありがとうございました。

意見交換は後程行いたいと思いますので、続きまして青少年委員会からお願いします。

(G 委員)

青少年委員会のご報告をさせていただきます。

資料4-1をご覧ください。

青少年委員会は6月22日と7月28日の合わせて2回行い、主な内容はアンケートについてでした。

青少年委員会では、これまでバンドイベントのホエールフェスティバルを2回行いました。

イベント重視の委員会でしたが、今後はルール作りをしていこうということになり、まずは一番利用の多いスタジオからということになりました。

スタジオの利用の問題として、高校生の利用が多いですが、無料ということもあって利用の仕方が雑になっており、機材が元通りになっていなかったり、一部壊れていたりしていました。

僕も利用させていただきましたが、ギタースタンドが壊れていたり、マイクスタンドの調子が悪かったりしたことがあり、使いにくいなあと思ったので、少しでも改善されるようにまずはアンケートを取って皆にどう思っているのかを聞こうと思っています。

内容は、裏側をご覧ください。

このようなアンケートを作り、利用している人の層を見ようということで、その中で利用者の中から機材が壊れていて困ったなどの声が聞けたらと思っています。

アンケートの3については、民間のスタジオだとペットボトル入りの飲み物の持込みが可能になっており、やはり歌ったり動いたりするので汗をかいたりして、熱中症も危ないので、蓋付きの飲み物ならいいのではないかとということで、まだ決定ではありませんが見直したいと思っています。

アンケートではどれくらい飲み物への意識があるのかを聞いてみたいと思っています。

4はその他ということで、利用に当たって何かあれば書いてもらいたいと考えています。

アンケートの配布は、もう始まっておりまして、3階の受付にアンケート回収のボックスを作っておりまして、見たらけっこう入っていました。

配布期間は、8月1日から9月15日までで、9月中旬は高校の文化祭の時期に当たるため利用も増えるので、ちょうどいいと思い、この時期に実施しています。

8月の終わりにまた会議がありますので、他のことについてもそこで話し合っていけたらと思っています。

また、今年は新しい委員が二人、学校の推薦で入ってくださいまして、心強く、より活発になっていくのではないかとと思っています。

以上です。

(A 委員)

ありがとうございました。

改善できるといいですね。

(G 委員)

はい。

(A 委員)

それでは今ご報告いただきましたけれども、ご質問のある方、ご意見も含めていかがでしょうか。

(H 委員)

先ほどのびのび子育てプラザの方からお話がありましたが、我々山一地区自治連合会というものがあまして、私はその代表として出ているのですが、連合自治会では毎月1回定例会をやっておりまして、その中でのびのび子育てプラザの運営報告をやってるわけです。

ところが、運営協議会が3ヶ月に1回ですから、それ以外の月には報告することがないのでですね。

定例会があるときはこういった会議の内容をкаいつまんで、こういう動きがありますよとか、報告をしていますが。

このように毎月やっておりますので、何か利用していただけるものがあれば遠慮なくおっしゃっていただいて、掲示物にしてもこういう話しにしてもこまめに言っていただけたら、地域に伝達していきたいと思っておりますので、是非活用していただければと思います。

以上です。

(事務局 C)

最後にお話ししようかと思っていたのですが、先ほど夏祭りのお話が出ましたので。

今日夏祭りのポスターをご用意させていただいたので、もし掲示板等地域の中にあるようでしたら、のびのび子育てプラザの夏祭りのポスターと青少年活動サポートプラザの夏祭りのポスターを、数に限りがありますが、帰りに是非持って帰っていただいて、こういう施設があるということをご皆さんの目に触れるようにしていただけたらと思います。

(A 委員)

私とH委員はまったく同じ立場で、H委員は山一地区連合自治会の理事、私は北山田地区自治団体連合会の理事をしております。

ご協力できることはご協力したいと思っています。

周知を図るにはやはり自治会を通すのが一番早いのですよね。

私もH委員と同じ考えですので、皆さんどうぞよろしくお願いします。

遠慮なく自治会を使っていただければと思います。

他に何かご意見ございませんか。

(I 委員)

先ほどの青少年フロア委員会の議論についてですが、青少年委員会で施設のルール作りの取り組みが報告されて、それについてフロア委員会で意見交換が行われましたということでしたが、どのような意見があったのでしょうか。

(C 委員)

このルール作りについては2年前の第1回のフロア委員会の中から話が出ていたのですが、当初は青少年が夜の10時まで何をするのかといった反対の声もありました。

そしてオープンして、一定のルール違反もありました。

また、6階の多目的ホールをダンスなどで貸切りにされている団体のお母さんから、他の子どもたちが上がって来ると騒がしいのでホールを使用している間は他の子どもたちが上がってこられないようにしてほしいという要望もありました。

そして、先ほどG委員が言われたように、利用者として使い勝手が悪いといった問題が起きています。

私は、青少年の居場所づくりをしているので、あまり堅く縛るのはどうかと思っております。

ですから、今後フロア委員会の中で青少年委員からの意見を出してもらって、話し合えたらと思っています。

(I 委員)

では、これからアンケートをされることについては、居場所づくりに支障を来さない方針で見守っていかれるということですね。

(C 委員)

それが我々の仕事だと思っております。

(I 委員)

では続いて事務局サイドにご質問ですが、子育てフロア委員会から運営協議会に対してかなり具体的な提案をいただきまして、これについてここで議論すべきなのか、事務局の方で何らかの対策を取られるのか、我々に教えていただければと思うのですが。

(事務局 A)

三つの施設の連絡会議がございますので、その中で議論し、こういう風にしたらどうかという案をお示ししたいと思っております。

(D 委員)

子育てフロア委員会では館全体に対する意見が多く出るので。

今までは言いっぱなしになっていて、せっかく質問してくれた方に対してそれはちょっとと思いますし。

できる、できないでけっこうですから、何らかの回答はしていただきたいと思います。

フロア委員会では必ず何らかの回答をいただいています。

回答をいただけるので、各委員さんから活発に意見が出るのですよ。

ところで、今青少年のアンケートの話が出ましたが、3番のところなどは、やりたいと言ったらできるのですか。

もしできないなら、最初から意見を聞かない方がいいのではないですか。

スタジオで飲み物を飲むのは専門的に言ってどうなのですか。

(C 委員)

ここに出ているということは、青少年委員会としても当然何らかの条件付きでもやってもらいたいということでしょう。

(D 委員)

専門的に言って、それはできるのですか。

(A 委員)

オープン当初は禁止となっていて、今お話が出ているように要望が多かったらオーケーになるのかどうか、その判断基準はお持ちでしょうか。

(事務局 A)

開館当初は、楽器がぬれてはいけないということで飲み物を持ち込むことは禁止となつたと聞いております。

しかし、練習していて汗もかきますし、熱中症の心配もありますので、これを機に検討の余地はあると考えております。

(A 委員)

これは利用者のモラルの問題にも関わってくるので、例えばこれから飲み物を持ち込む際にはきちんと注意点を示した方がいいと思います。

では飲み物を持ち込ませてほしいという意見が多かったら、実現は可能なわけですね。

(C 委員)

ボックスにはたくさん意見が入っているのでしょうか。

(G 委員)

はい。

(I 委員)

期待は膨らみますね。

(事務局 B)

今までも青少年活動サポートプラザでアンケートをとったことがあったと思うのですが、そのときには飲み物の話は出なかったのですか。

(G 委員)

ちょっとわかりません。

(事務局 B)

利用者からの要望が多くてオーケーにしてほしいというのであればよくわかるのですが、このアンケートに乗っかるような形で要望が出てくるというのは、少し残念ですね。

(G 委員)

青少年委員会の中に軽音と関係している人がいて、千里高校の部員で未来館を利用することが多いので話し合うことがあるのだそうで、そのときにも飲み物のことは出ていたようです。

青少年委員会の中にも利用者と繋がっている人がいるので、アンケートにもこれを入れていきます。

アンケートの中に書くことによって、僕たちがこういうことも考えてるんだなと利用者もわかると思って入れました。

(I 委員)

そのアンケート内容についてなんですけれども、かなり誘導しているなあというのが率直な感想です。

例が答えになってしまっているのです。

こういった話で何が起こるかという、皆飲み物の話をしてほしいわけですよ。

でもこれが認められるかどうかというのは、条件をどう作るかということが難しいわけですよ。

そこで皆さんの知恵が出てくるのが望ましいと思うんですよ。

飲食について希望しますか、希望しませんかと聞いて、希望しますという回答だったら、飲食に伴う危険性（機材が壊れるなど）に対してどのように対処したらよいと思いますかといったアイデアも一緒に集めないと、

要望だけ聞くのではなくて、その代りこういう条件だったらどうですかという形でネゴシエートしていくような機会を持つ方が、青少年の教育の観点からいいと思うのですよね。

今アンケートをとられている部分があるということですから、今から改定するかどうかというのは判断が難しいところですけども、若い人たちにどういう形で条件設定するのか、壊れたり、もとに戻っていない、だったらどうすればいいのかというところを考えることが大事だと思います。

壊れているから、壊すのはやめましょうという貼り紙をしても、なかなか難しいですよ。

壊したらいけないことは皆わかっている、でも壊れていく、どうしようという部分をみんな考えてほしいわけです。

そのアイデアを募る方がアンケートとしては意味がある。

それがこういった参画の大事なところなので、是非工夫をしてほしいなと思いますし、事務局の皆さんにおかれましてもそういった観点で青少年委員会にアドバイスしていただけたらと思います。

対決行動のようになっても困るでしょう。

(E 委員)

このアンケートを足掛かりとして、いろいろな意見が出ると思いますので、そこからルール作りをすればいいと思います。

確かに誘導にはなっていますが、少しでも何か意見を書いてほしいという気持ちが伝わってきますし、出てきた意見の中から形にしていければいいのではないかと。

夏祭りもありますし、みんなにどうだろうと聞いてみてもいいのではないのでしょうか。

(I 委員)

そのプロセスが大事だと思います。

委員会でディスカッションしてそれを利用者にアンケートして聞いて、そういう形で決めていくなれば私はいいと思います。

(E 委員)

みんなが集まったときにどうしたらいいと思うか、模造紙を貼ってそこに書いてもらうとか。

(I 委員)

いいと思います。

(事務局 B)

ニュートラルな調査研究として考えたときに、飲食禁止についてどう思いますかという問いに対して、それは当然だとか、いくつか選択肢を設けるべきだと思います。

中立の立場で調査をすることは必要かなと思います。

今後アンケートをとる際には誘導的なものは困るということは事務局としても言えると思いますので。

それともう一つ、回収率について、どれだけの人が書いてくれたのかによって、それを要望として捉えていいのかが変わってくると思いますので、そこも考える必要がありますよね。

(E 委員)

アンケートを書くのは興味がある人だけが書くのですか。

(事務局 B)

対決行動に持ち込むつもりはありませんが、どれぐらいの回収率かは問われますよね。

(E 委員)

特定多数の人にアンケートをとっているわけですからね。

(J 委員)

先ほどから言われている誘導に関して、事務局も把握しています。

また、撒き方に関しては、利用登録をしてもらっているので、一度渡した団体に何度も渡らないようにはなっています。

入れてくれるかどうかは別として、渡したところはチェックしていっています。

そして、先ほどからの誘導に関しては、僕らも感じています。

ですが、一応青少年委員会で考えてやっているのです、もちろんルールはありますし、禁止していたものですから。

当然結果も私らは予想していますが、こちらとしても機材が壊れたら困るという管理の立場もありますので、どうクリアしていくか。

とりあえず考えたことをやらせてあげたいと思うので、協力している状態です。

当然、G委員がいろいろ考えているので、その辺も返ってきた中で事務局にどう持ってくるかというところですが、利用者が要望したら可能になるのなら最初からできたのではないかということになってしまいますので、こういう条件なら事務局も納得できるというものを持ってきてもらって、その辺を投げかけながら進めていけたらいいのかなと考えていたところでは。

(A 委員)

よくわかりました。

いい方向でやってもらえればと、我々も応援していますから。

その他何かございますでしょうか。

それでは、議事4「その他」についてですが、事務局から皆さんにお知らせがあるとのことでは。

(事務局 A)

皆さんの報償費についてですが、市の審議会等の会議には附属機関と懇談会がございませぬ。

附属機関は諮問を受けて答申をする機関になり、この運営協議会は懇談会となります。

また、謝礼についても、附属機関は条例で定められた報酬という謝礼が定められておりまして、懇談会は報償費といひまして予算内で定めるという形で、少し違います。

今回、附属機関の報酬の引き下げが検討されており、9月議会で平成26年度からの引き下げの改正条例案が提案される可能性があるという状況です。

もしそうなりますと、報酬に準じて報償費についても引き下げになっていくのではないかと考えておりますので、ご報告させていただきます。

(A 委員)

ただいまご説明を受けましたが、何かご質問はありますか。

これは議会で決められるのですね。

(事務局 A)

そうですね。

報償費の金額そのものは議決の内容ではありませんが、報酬が条例で決められておりますので、それに準じてという形になります。

(I 委員)

市が提案されている条例ですよ。

委員提案ではなく。

(事務局 A)

そうです。

(A 委員)

そういうこともあるということで、皆さん認識しておいていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

では続いて、夏祭りの報告をお願いします。

(K 委員)

夏祭り実行委員会副委員長の K と申します。

よろしくお願いします。

8月18日に開催されます第3回の青少年活動サポートプラザ夏祭りの現時点での計画をご報告させていただきます。

基本的には我々は職員、委託スタッフには頼らず、委員の中で行うスタンスで進め、企画のアイデアを出すところから当日の運営まで、各階の協力を得ながら進めています。

特に議事進行や議事録を作ったりタイムスケジュールを作り、やり取りし、共有しています。

ただその中でもちょっと問題がありまして、我々委員会の仕事とスタッフに話ぐる仕事の連絡がうまくいかなかったり、やることの境界線の曖昧さなどがありました。

特にそういったことの管理をする人がおらず苦労しました。

来年度はこの反省を生かしたいと思います。

それから、前回会議を交流スペースで見えるようにやるということを報告して、いろいろなご意見をいただきましたが、結局会議を公開の場でやるということはありませんでした。というのは、特にそこで遊んでいる小学生の邪魔になるという問題がありまして、会議を外でやるのはみんなに活動の内容を知ってもらって関心を持ってもらう、例えば協力してくれる人や参加してくれる人が増えればということが目的だったのですが、こういうアイデアをなくすのはもったいないので、来年はどこかに会議の日程を貼り出しておくとか、内容や進捗状況を流すとか、そういう方法をとれたらいいかなと思います。

以上です。

(A 委員)

何かご質問ありますでしょうか。

(E 委員)

バンドとかダンスは全部で何組あるのですか。

(K 委員)

ダンス、バンドは10組ほどです。

実際には定員を超える応募がありました。

(E 委員)

応募された皆さん全員は出られないのですか。

(K 委員)

はい。

時間の都合で。

(E 委員)

年齢が違うからしかたないのかもしれませんが、エントランスロビーで縁日とか手遊びをされて、いろんな人にバンドやダンスを見に来てほしいということでお昼からされてるんですけど、かぶってしまうと見に行けないこともあるのかなあと。

プログラムを今後どう考えるかですね。

(K 委員)

例えば今回でも、小学生たちは、バンドをやっている間、下の催しに出られるようにちよっとずらしてあります。

(A 委員)

他にご質問はございませんか。

(事務局 B)

私はここで初めてこれを見たのですが、この目的であればやりっぱなしではなくて、実行委員として参加して達成感とかやってみてどうだったかの振り返りをして、目的が達成できたかどうか自分たちで確認してもらいたいと思います。

当日ではなくてもいいので、振り返りの時間をきちんと盛り込むことが大事だと思いますので、是非ともよろしくお願いします。

(I 委員)

夏祭りが終わってから振り返りの時間をとることは決まっていますか。

(K 委員)

日程は決まっていますが、反省会は去年同様やります。

(I 委員)

このお祭り自体の評価、うまくいった、いっていないというところと合わせて、今提案があったように一人一人がどういうことを感じて気づいたのかということを整理し振り返る時間をそのときに持ってもらえたらいいかなと思います。

(A 委員)

他にご質問ありますでしょうか。

なければ最後に議題5、次回の開催日程ですが、前回の運営協議会で3ヶ月に1回第2金曜日に実施することになりました。

しかし、欠席した委員から、金曜日は出席が困難であるとの意見があったため、事務局から各委員に都合の良い曜日の確認をしていただきました。

その結果、全ての委員が出席できる日程がなく、第何何曜日と定期開催にした場合、1年を通じて出席できない委員がでてしまいます。

そこで、この場で次回の開催日程を決めていくことにしたいと思いますが、ご了承いただけますでしょうか。

それでは、皆さんにはご苦勞をおかけしますが、そういう方向で進めてまいりたいと思いますが、事務局はいかがですか。

(事務局C)

ただ、特定の曜日になってしまうと特定の委員が出られないことになってしまいますので、事務局としてはアンケートをとった後に調整させていただきたいと思うのですが。

もし今日次回の会議を決めてしまうと、また同じように金曜日になってしまう可能性がありますので。

(A委員)

3ヶ月先になりますよね。

(事務局C)

そうです。

次回は11月になります。

(A委員)

そうしましたら、適当な時期を見計らって事務局の方で一番多く集まれる日で決めていただきたいと思いますが、皆さんいかがですか。

(D委員)

決め方はそれでいいですが、先ほども言ったように回答があまりにも遅すぎる。

私の感覚では回答が出るまでに3週間以上かかっているんですよ。

そうするとどんどん予定が入るし、それを空けて待っているわけにはいかないんです。

ですから、今おっしゃったようにアンケートを皆さんにとるのは大変でしょうけど、時間をできるだけ短縮して決めてほしいんです。

私は子育てフロア委員会の委員長という立場で、報告する義務があるから、基本的には出たいのです。

それをはずされて発表ができないと、子育てフロアのお母さんたちに申し訳ない気持ちがあるので。

だからできるだけ出たいのだけれども、ずっと待つてはいられないので、この協議会の場で日程を決めてほしいと提案したんです。

今回から3ヶ月に1回なんだから、極端に言えばその日を空けるようにできると思うんです。

でも、すでに予定が入っていてずっと出れないというのは問題ですよ、確かに。

金曜日が出れない方がいるなら、他の曜日で出れる人が多い日程にするとか。

これは私の意見ですが、とにかく時間を短縮して決めてもらいたいというのが私の希望です。

(事務局 C)

確かに回答をいただいてから少し時間がかかっておりましたので、極力回答いただいてからすぐに日程を決めてご連絡差し上げるようにいたします。

(D 委員)

この前のアンケートでも、3週間くらいずっと待っているのですが、もう待ってられないので予定を入れていくしかない。

希望を聞いて希望が通らないアンケートでは困りますので。

それだったら、逆にこの日に決めましたといってもらって、それに合わせて他の少人数の会議なら日程を変えることもできると思いますから。

他の会議を調整して長時間待っていて、今日またやり直すというのは、何のためにアンケートをとられているのか。

(A 委員)

今この会議で報告しようとしてるから、こういうことが起こるのかもしれませんがね。

アンケートをとった結果を皆さんに返してからではないので。

一つの考え方として、アンケートをとったら出席できる日に○を付けますよね。

委員さんの中で期限より遅れているということはありますか。

(事務局 C)

はい。

(A 委員)

ではまずそれを我々も気を付けて、期日までにはきちんと回答が出て、その場で一番多くの方が出られる日を決めたらいいと思います。

(I 委員)

最近11月と2月のスケジュールを教えてほしいということで出して、全委員から回答が出ているのであれば、なぜまた日程調整するのかなと思ったのですが。

(A 委員)

第何何曜日に固定するという話でしたよね。

(I 委員)

それをここで決めて、それで都合が悪いのもう 1 回調整しましょうということでもたアンケートを取られて、それで今日ですから、どういう考えで今提案されているのかというところをもう少し教えていただきたいのですが。

(事務局 C)

わかりました。

その日程では参加できない委員がおられて、第何何曜日であれば定例会議が開けるかという日程が知りたかったので、そのためのアンケートをとらせていただきました。

それで、第何何曜日でどの委員さんも出席できる日があれば、現在の第 2 金曜日からその日程に変更したいと考えておりました。

それで回答をいただきましたら、すべてどなたかが都合が悪いということになってしまいましたので、候補日がなくなってしまったので、元に戻らせていただきたいという提案になります。

(D 委員)

どの曜日もだめだったんですか。

(事務局 C)

そうですね。

どなたかは必ず出られないという状況です。

(D 委員)

それは最大公約数的に決めるしかないですね。

そうしないといつまでも決まらない。

(事務局 C)

そうですね。

ですから、会議のときに候補日をこちらで上げさせていただいて、○×で回答していただき、その中で一番多く出席していただける日程を調整して決めたいと思っています。

(D 委員)

わかりました。

返事は早くいただきたい。

(事務局 C)

早くさせていただきます。

(D 委員)

今まではその返事がとても遅かったのです。

先ほど会長がおっしゃられたように、我々の方の回答が遅かったということであれば、その時点でわかっている予定でしか連絡できないのですから。

私の場合は1年間予定が決まっていますのでわかりますが、
ですから、期限を切ってすぐ返事がほしい。

(事務局 C)

期限を切らせていただいて、その日が来たら日程を決めるようにして、通知させていただきます。

なるべく時間が開かないようにさせていただきます。
ご迷惑をおかけいたしました。

(I 委員)

方法はそれでいいのですが、今日のご説明でも我々が出した曜日に関するアンケート結果が省かれて説明されたので、あれどこいったのかなという風になってしまいましたから、その説明のところ一言あればきちんと受け止められたのかなと思います。

(A 委員)

この件について、私の方からも説明不足だった点がありましたので、申し訳なかったです。

第何何曜日と決めてしまうと1年間参加できない委員さんがおられたので、本日の下りとなりました。

それでは、次回ですが、一月前くらいでもよろしいでしょうか。

(I 委員)

早ければ早い方が。

(E 委員)

ここで手を挙げてもらって、欠席の方だけ聞いて、この日に来れますかという形にした方が。

郵便を出したりもったいないので。

2・3候補日をここで決めてもらって、ここに来れる人、来れない人を把握して、今日欠席の方にはこの三日間のどの日が来られますかと聞いて、一番人数の多い日にしたらどうでしょうか。

そうしたら、あとは私たちが返事をもらえばいいので。

(I 委員)

そうですね。

私もその意見に賛成します。

(C 委員)

これほど開催日で議論するのは初めてですね。

会長、副会長の都合がいい日で、あとは事務局で決めてもらったらいいのではないですか。

わざわざ委員にアンケートをとってわけがわからなくなるのだったら。

100%出席は難しいのですから。

75%もあれば十分です。

会長、副会長と事務局の担当者が来られる日に決定するのが私はいいと思います。

今、日を言われても、現時点でとしかいえないわけですから。

事務局で決められたらどうですか。

(A 委員)

事務局の方も、できるだけ委員の皆様が多く参加できる日と思ってされてきたのだと思います。

(C 委員)

それがかえって具合が悪いように思います。

(事務局 B)

8月の開催通知のときに、11月の予定の確認をいただいて、それで次回の会議で決めるのもいいし、3ヶ月先は予定がわからないというのは確かにわかりますが、少なくとも館長の私としてはこの会議を優先しますのでたくさんの人に来ていただきたいので、ある程度集約はしてほしいと思います。

他の行政の委員会でもかなり先まで予定が決まっていると聞いたので、ここだけの話ではないのかなとも思います。

(A 委員)

これは難しい話ですね。

ここを第一に考えるのは大切なことですが、市の会議とかいろいろな予定が入ることもありますし。

(事務局 B)

それはよくわかっています。

ただ、私の立場上、皆様をお願いしたいという意味で申し上げております。

(A 委員)

よくわかりました。

三日間ぐらいの日を予定しておいて、その中で決める。

11月の候補日をここで決めておきますか。

その方がまだ決めやすいですね。

事務局の方から、この曜日がよいという希望はありますか。

(事務局 C)

特にないです。

(I 委員)

時期は11月中ならいつでもいいんですか。

(事務局 C)

そうですね。

今までは大体前半に集中して開催しておりましたが、特に前半にこだわっているわけではございませんので。

(A 委員)

そうしましたら、11月の5、6、7の三日間の中で一日選んでいただくということで、皆さんよろしいですか。

(E 委員)

ここにいる人には、この場でいける日を聞いたらいいと思います。

(A 委員)

ではそれぞれ人数を数えたいと思います。

6日が一番多かったので、次回は6日に開催したいと思います。

今日ご欠席の方には6日にやるということでお知らせいただければと思います。

では今後はこのような形で開催日を決めていくということで。

そして、この間にどうしても都合が悪いことが出てきたときは、事務局に欠席のご連絡をしていただきたいと思います。

それでは次回は11月6日19時からになります。

ありがとうございました。

本日の議案は以上ですが、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。

では本日の運営協議会はこれにて終了となります。

B委員がいらっしゃいませんので、私から最後にご挨拶申し上げます。

本日は暑い中、お集まりいただきありがとうございました。

地球が燃えてしまいそうな暑さと表現したらよいのでしょうか。

また東北地方では水害も起きており、非常に厳しい季節です。

この暑さはしばらく続きそうですが、皆さんお身体に気を付けて過ごしていただければと思います。

また、先ほど資料を見せていただいて、去年と今年の利用者をぱっと見たのですが、かなり増えてきていますね。

館長がおっしゃられたように、この館もだんだん日本で知られるようになってきているようです。

良い方向に向かっていますね。

皆さん、今後ともよろしく願いいたします。

それでは今日はこれで終わりたいと思います。
皆さんどうもご苦労様でした。